

解答

(1)how difficult it would be to tie your shoelaces (2)from (3)3 (4) of (5)(A)4 (B)1 (6)6 (7)2 (8)3 (9)3 (10)2 (11)1 (12)5 (13)4 (14)全文訳参照 (15)annoying (16)1, 3 (17)2, 4

解説

- (1)「靴ひもを結ぶことがどれほど困難になるか」という文にする。
- (2)be different from A「Aとは違う」 different from an instinct「本能と異なる」
- (3)acquired「獲得した、後天的な」 inborn「生まれつきの、先天的な」 inherent「生まれつき存在する、固有の」 learned「経験によって身についた」 instinct「本能」
- (4)be aware of A「Aに気づいている」 actions that a person is aware of「人々が気づく行動」
- (5)the 比較級...the 比較級「...になればなるほど～」 perform an action「ある行動を行う」「ひとつの行動をその人が多く行えば行うほど、その行動を行うことは簡単になる」
- (6)carry out「遂行する」 = perform
- (7)in spite of A「Aにもかかわらず」 in spite of the pleasure (reward), smoking becomes a habit. 「その喜び(報酬)にもかかわらず、喫煙は習慣となる」では文意が通らないので2が正解である。そのほかの選択肢はすべて「～のために、～のせいで」という意味である。
- (8)ネズミの神経組織の多くの箇所を切断したが、the rats continued to perform the habits「切断したにもかかわらず、ネズミはその習慣を行いつづけた」というのであるから、「その切断にもかかわらず」と逆接でつなぐ必要がある。3.Despite「～にもかかわらず」が正解。apart from A「Aから離れて、Aのほかに」 contrary to A「Aとは反対に」 instead of A「Aの代わりに」
- (9)occur「(物事が)起こる」 3.happenが正解。does not occur only in particular parts of the brain「脳の特定の部位においてのみ起こるわけではない」
- (10)approach「...に近づく」 2.come close toが正解。when approaching a door「ドアに近づくとき」
- (11)grasp「つかむ、握る」 1.catchが正解。a person grasps the doorknob「人はドアノブをつかむ」
- (12)encounter「出会う」 5.meetが正解。when first encountered「はじめてドアノブと出会ったとき」 when a doorknob is encountered by a childと補って考えるとよい。
- (13)affect「影響を及ぼす」 4.influenceが正解。affectは主に好ましくない変化に用いられる。how they affect other people「どのようにそれらが他の人々に影響を及ぼすか」
- (14)ここではactは「行動する」という意味で、目的語を取らない。ひとつ目のto actは「行動するために」ふたつ目のto actはothers expect us to actで「他人が、私たちが(そのように)行動することを期待している」as...は「...のように」
- (15)annoyは「苛立たせる」 may be annoying「苛立たせるようなものであるかもしれない」
- (16)1.「習慣は強まれば強まるほど、より自動的にになっていく」、2.「赤信号は、ブレーキペダルを踏むことによって起きる反応である」、3.「習慣によって何の報酬も得られなくなると、人々はその習慣を捨てる」、4.「心理学者たちは、習慣形成に関する報酬という考え方を支持しない」
- (17)hábit「習慣、癖」 habitual「習慣的な」 sátsify「満たす、満足させる」 satisfáctory「満足な」で2,4がそれぞれアクセントの位置が異なる。

全文訳

習慣は第二の天性である。

習慣とは、人がその方法について考えることなく、何度も繰り返して行うようになるようなものである。多くの日常的な行動は、習慣なのである。もしあなたが、蝶結びを結ぶために必要なひとつひとつの行動を考えなくてはならないとしたら、靴ひもを結ぶことがどれほど困難になるかを想像してみなさい。習慣は、本能とは違う。本能とは先天的に身に付いている振る舞いのことで、学ぶものではない。

ほとんどの習慣は、自覚のある行動として始まる。ひとつの行動をその人が多く行えば行うほど、その行動を行うことは簡単になる。強い習慣は自動的になり、ほとんど考えなくても、あるいはまったく考えなくてもよいようになる。

心理学者は、習慣が行われるときにはいつも、刺激(行動を引き起こすもの)が存在するに違いないという意見で、だいたい一致している。たとえば、赤信号は経験を積んだ運転手にとって刺激となる。その刺激によって、ブレーキペダルを踏むという反応が引き起こされる。この習慣を身に付けるために、新米の運転手は、実際の交通の条件下で練習して、信号が赤いときにはブレーキペダルを踏むということを身につけなくてはならない。

多くの心理学者は、その行動が自分のためになるときのみ、人は習慣を身に付けるのだと信じている。心理学者は、このような満足をもたらすもののことを、報酬あるいは強化と呼ぶ。もし習慣が人々を満足させるならば、人々はその習慣を続ける傾向にある。習慣が何の報酬ももたらしてくれなかったり、不快なものになった時には、人々はその習慣を破る(破棄する)であろう。たとえば、喫煙によって喜びを得る人もいる。その喜び(報酬)のために、喫煙は習慣となるのである。もしその習慣が不快なものとなれば(もはや報酬を得られなくなれば)、人は喫煙を止めるであろう。

習慣形成に関して報酬という考え方を支持する心理学者は、古い考え方に反対する。古い考え方によると、ある行動が繰り返されると、神経組織の中に「経路」が作られるという。しかしながら、心理学者がネズミに習慣を教え込んでそれからネズミの神経組織の多くの箇所を切断したところ、切断したにも関わらず、ネズミはその習慣をやり続けたのである。この結果によって、習慣を身に付けるということは特定の神経の結合によるものでなく、また、脳の特定の部位において起こるものでもないということが示された。

習慣の中には、単純で筋肉の動きしか要求しないようなものもある。ドアに近付くと、人はドアのノブをつかむ。この行動は、単純運動行動と呼ばれる。この動きはきわめて自然であるように思われるが、人は一度はこの習慣を学ばなければならなかったのだ。初めてドアのノブを見た時、ノブは子どもにとっては奇妙な物である。子どもは、ノブを回してドアを開けるということを学習するまでに、何回もドアノブで遊ぶことになるだろう。

習慣の中には単純運動行動よりも優位なものもある。それらの習慣とは、私たちの物事や人々に対する考え方や態度のことである。心理学者は、この習慣を、適応の習慣と呼ぶ。これらの習慣の中には、それらが他の人々にどのような影響を及ぼすかによって、「よい」ものも「悪い」ものもある。(14) 私たちは、他の人々が私たちにしたいと思っていることをするために、「よい」習慣を身に付ける。きちんとした外見や気持ちのよい作法は、よい習慣であるとみなされる。人は、そこから何かを得られるだろうと考えて、「悪い」習慣を身に付けるかもしれない。しかし、そのような習慣は、他の人々を苛立たせているかもしれないのである。

コラム 語源研究

語根 DIC

【語源】ラテン語の dicere「言う、話す、示す」を語源とする。フランス語 dire、イタリア語 dire、スペイン語 decir、ポルトガル語 dizer はすべて「言う」という動詞。diction「言葉づかい」、dictionary「辞書」、dictum「意見、声明」、dictator(「いろいろ指示を言う人」)独裁者は形がよく残っている。dictate は「書き取る」ではなく「書き取らせるために話す」ことである。似た形の dicare「宣言する、神に捧げる」が語源となっていることもある。

【単語】

- abdicate ab(離れて) + dicare(宣言する) 「...から離れると宣言する(= 王位や権利を捨てる)」
- contradict contra(反対) + dict(言う) 「反対しのことを言う(= 否定する、矛盾する)」
- dedicate de(下に) + dicare(捧げる) 「(ある人や目的)の下に身を捧げる(= 捧げる)」
- indicate in(中に) + dicare(宣言する) 「(人々の中)へ知らせる(= 指し示す、徴候である)」
- predict pre(前に) + dict(言う) 「(時間的に)前もって言う(= 前もって言う、予言する)」

コラム 語源研究

語根 VOC、VOK

【語源】ラテン語の vocare「呼ぶ、召集する」を語源とする。vocabulary「語彙」、vocal「声の」、vocation「神のお召し、召命、天職」、voice「声」は同語源。

【単語】

- advocate ad(...に) + vocare(呼ぶ) 「人々に助けを呼びかける(= 主張者、支持者、主張する)」
- convoke con(共に) + voke(呼ぶ) 「一緒に呼び集める(= 召集する)」
- equivocal equi(等しい) + vocal(呼ぶ) 「同じように呼びかける(= 両義にとれる、はっきりしない)」
- evoke ex(外へ) + voke(呼ぶ) 「外へ呼び出す(= 引き起こす、呼び起こす、呼び出す)」
- invoke in(中に) + voke(呼ぶ) 「神を自分の中に呼ぶ(= 祈願する、切願する)」
- provoke pro(前に) + voke(呼ぶ) 「呼んで前に引っぱり出す(= 怒らせる、感情を引き起こす)」
- revoke re(後へ) + voke(呼ぶ) 「呼び戻す(= 無効にする、廃止する)」